

教養・基礎教育部門

2024 年度 研究活動報告

教養・基礎教育部門
令和 6 年度 研究活動報告書

教授 木村正則 教授 西垣佐理

准教授 赤羽仁志 准教授 シェリダン ロバート・ジョーン

教養・基礎教育部門の構成員それぞれの専門分野を基盤として、外国語科目（とくに英語）に関連する幅広い研究を行っている。令和 6 年度、木村教授は今後の英語教育の在り方を模索する手がかりとして、英語教育とフランス語教育の教授法のアプローチの違い及びその背景にあるそれぞれの教育哲学について調査した。西垣教授は 19 世紀イギリスヴィクトリア朝期の女性作家エリザベス・ギヤスケルの小説『北と南』におけるジェンダー・イデオロギーの再構築に関して、特にヒロインとその相手との関係の変化を中心に論じた。赤羽准教授は、ミニマリスト・プログラムの枠組みにより外在化を巡る比較統語論の研究を行った。シェリダン准教授は SDGs を日本文化や人権問題と関連付けて教えるための効果的な方法の研究を継続している。SDGs や人権問題に取り組む専門家や活動家への聞き取り調査を行い、その結果を基に、これらの課題をグローバルな課題としてだけでなく、ローカルな課題としても扱い、日本の大学生向けのレベルに合った教材を作成している。さらに、語彙習得も研究関心の一つであり、教育者によって作成された電子媒体の単語カードと、学習者自身が作成する紙媒体の単語カードのいずれも、新しい語彙の初期習得に有効であることを示した。また、シェリダン准教授が開発した協働型紙媒体単語カードアクティビティは、語彙習得の促進と学習者の理解度評価の両面において有用であることも示す成果を上げた。

「原著論文」

- 1) Sheridan, R, & Tanaka, K.M. 「Global Issues in Local Contexts: Japanese University EFL Learners’ Reactions to the Development of Relevant and Engaging SDGS Materials」『TESL-EJ』28 巻 1 号 21 ページ（オンライン学術雑誌）、2024 年 5 月.
- 2) 西垣佐理. 「『北と南』におけるジェンダー・イデオロギーの再構築—マーガレットとソーントンとの関係を中心に—」『ギヤスケル論集』第 34 号（2024）63-75 頁.
- 3) 赤羽仁志. 「付加疑問文の構造と派生について—外在化における多様性と普遍性—」『近畿大学教養・外国語教育センター紀要（外国語編）』第 15 巻第 1 号（2024）19-42 頁.

「学会発表」

- 1) Sheridan, R. 「Version 1.1 of the SDGs Service List & Engaging Word Card Activities to Effectively Master New Vocabulary」 Okinawa JALT (全国語学教育学会沖縄支部) Teaching Conference 2024、沖縄県、那覇市、沖縄県男女共同参画センター ている、2024 年 10 月.
- 2) Sheridan, R. 「The SDGs Service List and Effective Ways to Learn Vocabulary」 JALT 2024 全国語学教育学会・第 50 回年次国際大会教材展示会、静岡県、静岡市、静岡コンベンションアーツセンター グランシップ、2024 年 11 月.
- 3) Sheridan, R. 「Engaging and Effective Strategies for Mastering SDG Service List Items and Other Important Vocabulary」 The 23rd Annual Hawaii International Conference on Education (H.I.C.E) 、アメリカ、ホノルル市、Hilton Hawaiian Village Conference Center, 2025 年 1 月.
- 4) Sheridan, R. 「Specialized Vocabulary Lists and Fun and Effective Word Card Activities to Master Them」 TESOL 2025 International Convention & Expo、アメリカ、ロングビーチ市、Long Beach Convention Center、2025 年 3 月.

「その他」

- 1) 書評：西垣 佐理、「川崎明子著『人形とイギリス文学——ブロンテからロレンスまで』」『英文學研究』第 101 巻 (2024) 104-107 頁。

「公的資金」

- 1) 科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)), (代表者) Sheridan R, Tanaka K, Swier R, Global Issues, Local Issues: The SDGs and Social Justice in Japan and Abroad 課題番号 : 23K00665, 令和 5 年度～令和 7 年度, ¥4,160,000
- 2) 科学研究費助成事業 (基盤研究 (C)), (代表者) 西垣 佐理「初期ヴィクトリア朝文学に見る病・医療・看護表象の歴史的研究」課題番号 : 21K00405, 令和 3 年度～令和 7 年度, ¥1,690,000

「各種委員会委員などの兼務業務」

- 1) 全国語学教育学会大阪支部の企画共同委員長 (R. シェリダン) 全国語学教育学会大阪支部の企画委員長として Osaka JALT Back to School 2024 Conference を主催 (発表者 64 人・参加者約 130 人以上)、2024 年 4 月
- 2) The 21st Annual CamTESOL (国際英語教育学会大会) Main Conference Program Committee Member (Abstract Selection Committee) (R. シェリダン)

- 3) Elsevier: Social Science & Humanities Open 審査委員 (R. シェリダン)
- 4) 全国語学教育学会大阪支部 Kobe JALT Journal 審査委員 (R. シェリダン)
- 5) ディッケンズ・フェロウシップ日本支部 VOD 担当理事補佐 (西垣佐里)
- 6) 日本英文学会関西支部会計監査・大会準備委員 (西垣佐里)
- 7) 日本ヴィクトリア朝文化研究学会大会企画・準備委員 (西垣佐里)
- 8) 関西学院大学英米文学会編集委員 (西垣佐里)
- 9) 国立大学法人大阪大学外国語学部非常勤講師 (赤羽仁志)